

## 産業活力都市

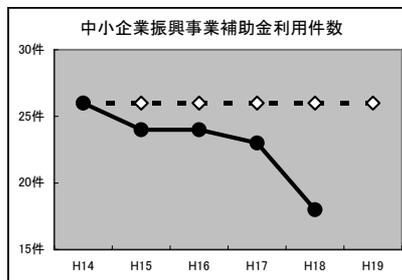
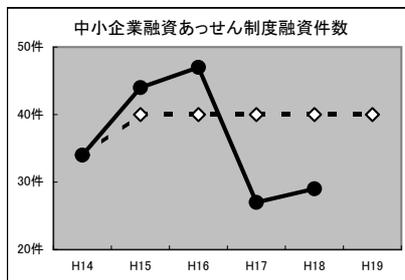
# 施策別 行政サービス成果表

分野	05 産業活力都市
小分野	01 産業活力都市
施策	01 商工業の振興

	H15	H16	H17	H18	H19	合計
コスト 合計	302,778千円	255,774千円	282,102千円	217,878千円		1,058,532千円

事業・コスト一覧	事業名	18年度			所管	
		事業費	職員人件費	公債費		合計
	<b>商工会支援事業</b>	<b>15,300千円</b>	<b>0千円</b>		<b>15,300千円</b>	産業振興室
	商工会支援事業	15,300千円				
	<b>中小企業支援事業</b>	<b>166,229千円</b>	<b>19,164千円</b>		<b>185,393千円</b>	産業振興室
	中小企業支援事業	8,388千円				
	中小企業融資あっせん事業	157,841千円				
	<b>産業ビジョン推進事業</b>	<b>859千円</b>	<b>0千円</b>		<b>859千円</b>	産業振興室
	産業ビジョン推進事業	859千円				
	<b>中心市街地活性化推進事業</b>	<b>6,744千円</b>	<b>9,582千円</b>		<b>16,326千円</b>	都市再生室都市整備課
	中心市街地活性化推進事業	6,744千円				

施策評価	評価指標		H14	H15	H16	H17	H18	H19
	1	中小企業融資あっせん制度融資件数	目標値	34件	40件	40件	40件	40件
実績値			34件	44件	47件	27件	29件	
指標の根拠								
2		中小企業振興事業補助金利用件数	目標値	26件	26件	26件	26件	26件
	実績値		26件	24件	24件	23件	18件	
	指標の根拠							



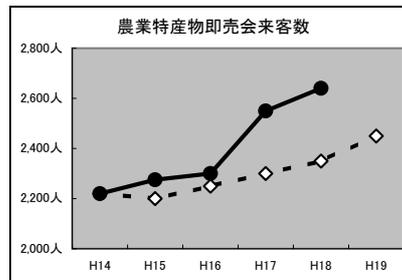
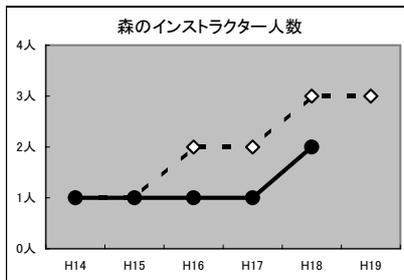
# 施策別 行政サービス成果表

分野	05 産業活力都市
小分野	01 産業
施策	02 農林業の振興

	H15	H16	H17	H18	H19	合計
コスト合計	61,802千円	77,463千円	51,734千円	106,934千円		297,933千円

事業・コスト一覧	事業名	18年度			所管	
		事業費	職員人件費	公債費		合計
事業・コスト一覧	<b>農林業総務管理事業</b>	<b>3,244千円</b>	<b>9,582千円</b>		<b>12,826千円</b>	産業振興室
	農林業総務管理事業	3,244千円				
	<b>農業共済事業特別会計繰出金</b>	<b>21,741千円</b>	<b>0千円</b>		<b>21,741千円</b>	産業振興室
	農業共済事業特別会計繰出金	21,741千円				
	<b>林業振興事業</b>	<b>255千円</b>	<b>0千円</b>		<b>255千円</b>	産業振興室
	林業振興事業	255千円				
	<b>農業振興事業</b>	<b>8,672千円</b>	<b>9,582千円</b>		<b>18,254千円</b>	産業振興室
	水田農業構造改革事業	640千円				
	農業振興推進事業	8,032千円				
	<b>市民農園支援事業</b>	<b>47,200千円</b>	<b>0千円</b>		<b>47,200千円</b>	産業振興室
	市民農園支援事業	47,200千円				
	<b>農業用施設改良事業</b>	<b>6,658千円</b>	<b>0千円</b>		<b>6,658千円</b>	産業振興室
	農業用施設改良事業	6,658千円				

施策評価	評価指標		H14	H15	H16	H17	H18	H19
	1 森のインストラクター人数	目標値		1人	1人	2人	2人	3人
実績値			1人	1人	1人	1人	2人	
指標の根拠								
2 農業特産物即売会来客数	目標値		2,220人	2,200人	2,250人	2,300人	2,350人	2,450人
	実績値		2,220人	2,275人	2,300人	2,550人	2,640人	
	指標の根拠							



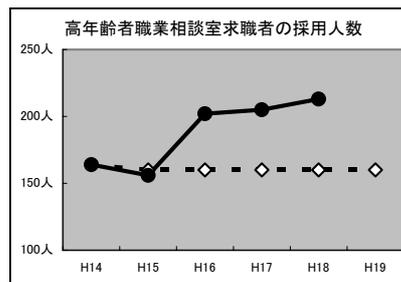
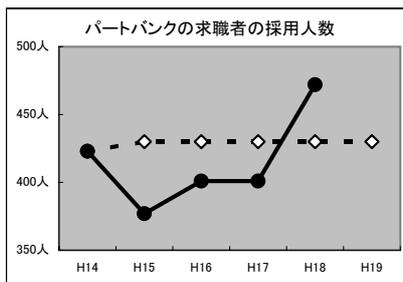
## 施策別 行政サービス成果表

分野	05 産業活力都市
小分野	02 労働
施策	01 就業の支援と労働環境の整備

	H15	H16	H17	H18	H19	合計
コスト合計	11,324千円	11,080千円	15,262千円	19,477千円		57,143千円

事業・コスト一覧	事業名	18年度				所管
		事業費	職員人件費	公債費	合計	
	労働相談事業	8,005千円	0千円	11,472千円	19,477千円	産業振興室
	労働相談事業	8,005千円				

施策評価	評価指標		H14	H15	H16	H17	H18	H19
	1	パートバンクの求職者の採用人数	目標値	423人	430人	430人	430人	430人
実績値			423人	377人	401人	401人	472人	
指標の根拠								
2	高齢者職業相談室求職者の採用人数	目標値	164人	160人	160人	160人	160人	160人
		実績値	164人	156人	202人	205人	213人	
		指標の根拠						



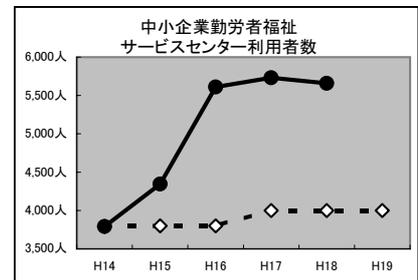
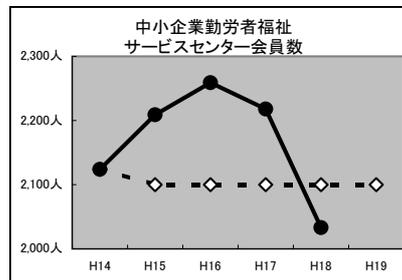
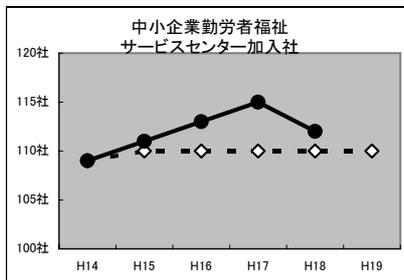
# 施策別 行政サービス成果表

分野	05 産業活力都市
小分野	02 労働
施策	02 勤労者福祉の充実

	H15	H16	H17	H18	H19	合計
コスト 合計	87,937千円	85,151千円	66,028千円	64,792千円		303,908千円

事業・コスト一覧	事業名	18年度			所管
		事業費	職員人件費	公債費	
	旧労働福祉会館維持管理事業	9,091千円	0千円		産業振興室
	旧労働福祉会館維持管理事業	9,091千円			
	労働者支援事業	36,537千円	19,164千円		産業振興室
	労働者支援事業	6,907千円			
	労働者住宅資金融資あっせん事業	29,630千円			

施策評価	評価指標		H14	H15	H16	H17	H18	H19
	1	中小企業勤労者福祉サービスセンター加入社	目標値	109社	110社	110社	110社	110社
実績値			109社	111社	113社	115社	112社	
指標の根拠								
2	中小企業勤労者福祉サービスセンター会員数	目標値	2,124人	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人
		実績値	2,124人	2,209人	2,259人	2,218人	2,033人	
		指標の根拠						
3	中小企業勤労者福祉サービスセンター利用者数	目標値	3,791人	3,800人	3,800人	4,000人	4,000人	4,000人
		実績値	3,791人	4,345人	5,611人	5,731人	5,659人	
		指標の根拠	自主事業・健康管理事業の参加者及びチケット販売					



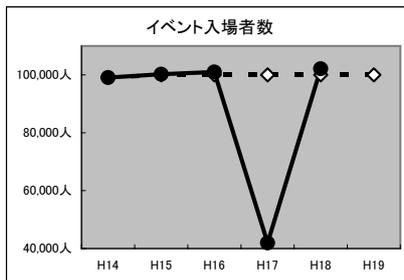
## 施策別 行政サービス成果表

分野	05 産業活力都市
小分野	03 観光
施策	01 観光の振興

	H15	H16	H17	H18	H19	合計
コスト 合計	64,421千円	64,078千円	48,569千円	53,794千円		230,862千円

事業・コスト一覧	事業名	18年度			所管	
		事業費	職員人件費	公債費		合計
	<b>観光推進事業</b>	<b>1,669千円</b>	<b>9,582千円</b>		<b>11,251千円</b>	産業振興室
	広域観光事業	217千円				
	観光PR事業	1,452千円				
	<b>イベント支援事業</b>	<b>8,545千円</b>	<b>9,582千円</b>		<b>18,127千円</b>	産業振興室
	川西りんどう祭	3,515千円				
	川西市源氏まつり	5,030千円				
	<b>猪名川花火大会事業</b>	<b>14,834千円</b>	<b>9,582千円</b>		<b>24,416千円</b>	産業振興室
	猪名川花火大会事業	14,834千円				

施策評価	評価指標	H14	H15	H16	H17	H18	H19
		1 イベント入場者数	99,059人	100,000人	100,000人	100,000人	100,000人
	実績値	<b>99,059人</b>	<b>100,227人</b>	<b>101,003人</b>	<b>41,948人</b>	<b>102,126人</b>	
	指標の根拠	川西警察署発表数値等(源氏まつり・市民納涼のつどい・花火大会・りんどう祭)					





## 事業別行政サービス成果表

### 1. 事業名等

事業名	商工会支援事業	決算書頁	296
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	商工農林・観光担当主幹 大南 孝二

### 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較
	総事業費	15,300	15,300		0	一般財源	15,300
内、事業費	15,300	15,300	0	国県支出金			0
訳、職員人件費			0	地方債			0
公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考			0	特定財源(その他)			0
職員数(人)			0				
再任用職員数(人)			0				

### 3. 事業の目的

市内商工業者の経営及び技術の改善発達を図り商工業者の振興と安定に寄与する。

### 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	商工会支援事業	細事業事業費	15,300
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	川西市商工会		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	商工会 会員数 1,839人(平成18年4月1日現在)		
(3)概要	地域産業の発展、振興のため、各種改善普及事業に取り組む商工会に対し補助を行った。		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容 市内商工業発展のため、起業家支援セミナー等、商工業者の経営改善普及事業、地域活性化事業、情報対策事業等により、市の経済発展、まちの活性化につながっている。

経営改善普及事業(18年度)

### ○起業・創業講習(18年度実績)

5/17～5/18 起業支援セミナー (第1回)	参加人数18名(延べ人数)
7/19～7/20 起業支援セミナー (第2回)	参加人数20名(延べ人数)
9/13～9/14 起業支援セミナー (第3回)	参加人数12名(延べ人数)
9/30～10/2 かわにしステップアップ創業塾(起業家第3回含む)	参加人数124名(延べ人数)
2/14～2/15 起業支援セミナー (第4回)	参加人数10名(延べ人数)

### ○出前講座(18年度実績)

2月10日 地域活性化～まちづくり～	参加人数18名
2月19日 元気な店づくり	参加人数11名
2月21日 利潤を追求する「まちおこし」	参加人数90名
2月22日 元気な店づくり～地域を生かす・人を活かす～	参加人数 8名

### ○経営・経理等

簿記・個人情報・ISO・年末調整等講座 9講座 参加人数436名(延べ人数)

### ○パソコン関係講座

WORD・エクセル・ブログ作成等9講座 参加人数305名(延べ人数)

### ○金融関係等

金融審査委員等勉強会 参加人数5名

### ○税務関係

消費税関係講座 参加人数39名

### ○労務関係

社会保険・労働保険等5講座 参加人数44名

施策別行政サービス成果表の評価指標

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

小規模事業者支援にむけて、経営改善普及事業については引き続き行う必要がある。

(理由) 地域活性化を進める上では、市民はもとより地元中小企業者の意識改革を含めた経営改善が必要である。また、景気回復の基調はデフレ下のもので、地域・業種によってバラツキがあり、地域の中小企業者にとつては、まだまだ実感に乏しく厳しい状況は依然として変わらない。

## 事業別行政サービス成果表

### 1. 事業名等

事業名	中小企業支援事業	決算書頁	298
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	商工農林・観光担当主幹 大南 孝二

### 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較	
	総事業費	185,393	248,842		△ 63,449	一般財源	31,571	33,839
内、事業費	166,229	230,194	△ 63,965	国県支出金			0	
訳、職員人件費	19,164	18,648	516	地方債			0	
公債費			0	特定財源(都市計画税)			0	
参考	職員数(人)	2	2	0	特定財源(その他)	153,822	215,003	△ 61,181
	再任用職員数(人)		0					

### 3. 事業の目的

商工業者の実施する事業に支援・補助を行い経営基盤の強化等を推進し市内商工業の活性化を図る。

### 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	中小企業支援事業	細事業事業費	8,388
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	市内商工業者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	3,715人(H16 事業所統計調査 市内事業所数)		
(3)概要	商業者に対して、活性化を図るために行った販売促進事業、イベント開催事業に対し補助をおこなう。工業者については、見本市に出店した企業に対し補助を行った。 市内商工業者を対象にソフト・ハード面から専門のコンサルタントによる経営指導を行った。		
<細事業2>	中小企業融資あっせん事業	細事業事業費	157,841
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	市内に事業所を持つ中小企業者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	H19.3.31現在債務者 159件 328,639,235円(18年度新規貸付決定者 29件 97,700,000円)		
(3)概要	金融機関の借入残高及び新規貸付見込み額に応じて預託を行い、市内中小企業者の事業資金が円滑に行われるように融資あっせんを行う。 代位弁済が発生した時は保証協会へ損失補償を支払う。		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容 「川西経営塾」においては、分野別講師を設定する等、中小企業者に直結する問題解決にむけて、様々な観点から経営指導を行うことが出来た。また新たに「地域勉強会」を開催し地域活性化のために活動をされている商店会団体等に経営コンサルタントを派遣した。融資については、昨年度より申込み数が増加した。

また、組合活性化事業費補助金、見本市出店事業補助金、工業技術開発事業補助金については、下記のとおり補助を行った。

組合活性化事業費補助金	28件 3,095,000円
見本市出店事業補助金	2件 190,000円
工業技術開発事業補助金	1件 285,000円

融資件数一覧 (千円)

年度	申込件数	申込金額	承諾件数	承諾金額
18	44	192,900	29	111,700
17	44	194,200	27	99,800
16	66	302,810	47	165,470
15	71	318,100	44	156,400
14	55	305,480	34	138,380

施策別行政サービス成果表の評価指標 中小企業融資あっせん制度融資件数 中小企業振興事業補助金利用件数

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

平成19年度に規則改正を行った。

組合等活性化補助事業	補助事業名を明確にするため「地域振興補助事業」に変更
商店街診断・指導	法定、任意共に限度額50万円(18年度 補助率50%以内で法定100万円、任意50万円)
販売促進	廃止 (18年度 補助率50%以内で法定10万円、任意5万円)
イベント支援	法定、任意共に限度額10万円((18年度 補助率50%以内で法定10万円、任意5万円)
元気づくり随伴補助	新設(予算の範囲内)
共同施設設置整備補助事業	補助率法定、任意共に30%以内限度額500万円 (18年度 補助率法定30%以内、任意15%以内で 限度額は法定1,000万円、任意500万円)

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	産業ビジョン推進事業	決算書頁	298
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	商工農林・観光担当主幹 大南 孝二

## 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較
	総事業費	859	812		47	一般財源	859
内、事業費	859	812	47	国県支出金			0
訳、職員人件費			0	地方債			0
公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考、職員数(人)			0	特定財源(その他)			0
再任用職員数(人)			0				

## 3. 事業の目的

魅力ある活力に満ちたまちづくりの一環として産業振興ビジョンの計画的な推進を図る。

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	産業ビジョン推進事業	細事業事業費	859
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	産業ビジョン推進委員会		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	産業ビジョン推進委員会委員 8名		
(3)概要	川西市の産業振興の基本方向を示す長期ビジョンについて計画的な推進のために審議等を行う。		
<p>平成18年度で短期戦略終了年を迎えることから、川西市の産業(商業・工業・農業)の現状把握や、市民の意識調査をもとに、その現状から見た課題等の整理、研究を行った。</p>			

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

平成18年度で短期戦略終了年を迎えることから、川西市の産業(商業・工業・農業)の現状把握や、市民の意識調査をもとに、その現状から見た課題等の整理、研究を行った。

第1回 平成18年6月28日開催 重点施策現状把握・進捗状況確認

第2回 平成18年12月14日開催 川西市における課題・地域特性とは・について意見交換

第3回 平成19年3月19日開催 今後の産業ビジョン及び市長に対する提言書作成にむけて意見交換

施策別行政サービス成果表の評価指標

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

平成19年度産業ビジョン推進委員会としては、短期戦略終了年として、市に対する提言を行う。

推進委員の任期は10月で終了することから、中期戦略にむけての産業ビジョン推進委員会の在り方の検討が必要。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	中心市街地活性化推進事業		決算書頁	298
所管室・課	都市再生室 都市整備課	作成者	主幹 南野 和男	

## 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較	
	総事業費	16,326	16,918		△ 592	一般財源	16,326	16,918
内訳	事業費	6,744	7,479	△ 735	国県支出金			0
	職員人件費	9,582	9,439	143	地方債			0
	公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考	職員数(人)	1	1	0	特定財源(その他)			0
	再任用職員数(人)			0				

## 3. 事業の目的

中心市街地の活性化の推進

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

〈細事業1〉	中心市街地活性化推進事業	細事業事業費	6,744
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	かわにしTMO		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	川西市中心市街地 約300ha		
(3)概要	<p>・かわにしTMOに対して、川西市中心市街地商業活性化助成金を交付し、中心市街地の活性化に向けた事業に対して支援を行った。</p> <p>・主な内            ◎かわにし能勢口まつり            ◎かわにし能勢口にぎわいプロジェク            ◎かわにしのせぐちおでかけマップ            ◎川西能勢口周辺商業活性化支援事業検討            ◎再開発ビルのリニューアルについての技術的支援</p> <p>・中心市街地活性化事業の今後の流れ</p>		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

### かわにしTMOの主な活動

- ・平成15年10月5日 阪神北ふれあいフェスティバルと連携し、「かわにしいち」を開催(参加延人数 約4,000人)
- ・平成15年12月21、22日 かわにし能勢口まつり協賛(参加延人数 約2,000人)
- ・平成16年7月24、25日 市制50周年記念 かわにし能勢口まつり主催(参加延人数 約10,000人)
- ・平成16年12月23、24日 市制50周年記念 かわにし能勢口まつり協賛(参加延人数 約2,000人)
- ・平成17年8月6、7日 かわにし能勢口まつり協賛(参加延人数 約4,000人)
- ・平成18年8月5、6日 かわにし能勢口まつり協賛(参加延人数 約4,000人)
- ・平成18年12月22、23日 かわにし能勢口まつり協賛(参加延人数 約1,000人)
- ・平成19年3月3、4日 かわにし能勢口にぎわいプロジェクト「かわにし朝市」主催(参加延人数 約500人)
- ・平成19年3月31日 かわにし能勢口にぎわいプロジェクト「アステかわにし繁昌亭」主催(参加人数544人)

- ・平成16年度 川西市中心市街地活性化事業展開検討(市補助)
- ・平成16年度 かわにしのせぐちおでかけMAP【史跡・施設編】発行 (10,000部)
- ・平成17年度 かわにしのせぐちおでかけMAP【史跡・施設編】増刷 (20,000部)
- ・平成17年度 川西能勢口周辺商業活性化支援事業検討調査(県・市補助)
- ・平成17年度 区分所有による再開発ビル再生のための検討調査(国補助)
- ・平成18年度 かわにしのせぐちおでかけMAP【グルメ編】発行 (30,000部)
- ・平成18年度 川西能勢口周辺商業活性化支援事業検討調査(市補助)

施策別行政サービス成果表の評価指標

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

中心市街地活性化法の改正を受けて、平成12年度に策定した「川西市中心市街地活性化基本計画」を平成19年度に見直す。

国の多様な支援策を受けるためには、法律の規定により、新たに策定する基本計画については内閣総理大臣の認定を受ける必要があり、平成19年度中の認定申請を目指す。

中心市街地活性化推進のための組織については、川西市商工会・かわにしTMO・第三セクターが中心となり、法律に基づく中心市街地活性化協議会を設置し、中心市街地の総合的なまちづくりを進めていくことになる。

## 事業別行政サービス成果表

### 1. 事業名等

事業名	林業振興事業	決算書頁	290
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	商工農林・観光担当主幹 大南 孝二

### 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較
	総事業費	255	322		△ 67	一般財源	255
内、事業費	255	322	△ 67	国県支出金		100	△ 100
訳、職員人件費				地方債			0
公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考				特定財源(その他)			0
職員数(人)			0				
再任用職員数(人)			0				

### 3. 事業の目的

森林の保全に向けた松食い虫防除事業の実施及び森林ボランティアの育成支援等のため。

### 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	林業振興事業	細事業事業費	255
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	林業家、市民森林ボランティア団体		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	川西里山クラブ 42名他		
(3)概要	① 公共用地内の松食い虫被害木の駆除を実施し、被害のまん延を防止した。 ② 森林ボランティアグループの活動に対して助成金を交付した。		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

① 公共用地内の松食い虫被害木の駆除を実施し、被害のまん延を防止した。

	18年度	17年度	16年度	15年度
事業費(円)	199,500	157,500	178,500	189,000
伐倒駆除(箇所)	1	1	1	1
伐倒駆除(本数)	30	5	4	9
実施地域等	湯山台2	清和台西3	川西中学校	多田中学校

② 森林ボランティアグループの活動に対して助成金を交付した。

	18年度	17年度	16年度	15年度
助成金(円)	51,000	—	—	—
登録会員数(人)	42	—	—	—
活動実績(回)	24	—	—	—
参加延人数(人)	375	—	—	—

③ 森のインストラクターを1名から2名に増員し、森林ボランティアの育成をした。

	18年度	17年度	16年度	15年度
森のインストラクター(人)	2	1	1	1

施策別行政サービス成果表の評価指標 森のインストラクター人数

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

【課題や改善できる点】

○森林を保全するために、森林ボランティアグループの活動等を引き続き助成・支援する体制が必要である。

【19年度以降の見通し】

○19年度から当分の間、公共用地内の松食い虫被害木の駆除事業については、重複事業もあり費用対効果の面から廃止した。

## 事業別行政サービス成果表

### 1. 事業名等

事業名	農業振興事業	決算書頁	290
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	商工農林・観光担当主幹 大南 孝二

### 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較
	総事業費	18,254	15,191		3,063	一般財源	17,904
内、事業費	8,672	5,752	2,920	国県支出金	350	364	△ 14
職員人件費	9,582	9,439	143	地方債			0
公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考 職員数(人)	1	1	0	特定財源(その他)			0
再任用職員数(人)			0				

### 3. 事業の目的

農業振興事業の推進のため。(米の需給安定対策、農産物の地産地消の推進等)

### 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

〈細事業1〉	水田農業構造改革事業	細事業事業費	640
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	市内農家者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	451戸		
(3)概要	① 米の需給安定対策のため、生産調整を関係機関の協力を得て実施した。		
〈細事業2〉	農業振興推進事業	細事業事業費	8,032
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	市内農業者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	451戸		
(3)概要	② 各種農業団体で構成する川西市農業振興研究会に助成を行い、農林業特産物の品質・技術向上のため品評会を開催した ③ 農業生産物等の流通改善と特産物の消費拡大を図るため、即売会を実施し地産地消を広く市民にPRした。		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

① 米の需給安定対策のため、生産調整を関係機関の協力を得て実施した。

	18年度	17年度	16年度	15年度
生産目標面積(ha)	79	85	99	80
生産目標実績(kg)	391,906	418,657	483,440	—
配分対象農業者(人)	625	640	594	620

② 各種農業団体で構成する川西市農業振興研究会に助成を行い、農林業特産物の品質・技術向上のため品評会を開催した

	18年度	17年度	16年度	15年度
品評会開催(回)	4	4	4	4

※ 品評会は、果菜(イチジク・栗・そ菜・林業特産物)の4回開催した。

③ 農業生産物等の流通改善と特産物の消費拡大を図るため、即売会を実施し地産地消を広く市民にPRした。

	18年度	17年度	16年度	15年度
即売会開催(回)	6	6	6	6
即売会来客数(人)	2,640	2,550	2,300	2,275

※ 即売会は、植木(春、秋)・桃・イチジク・栗・そ菜・林業特産物の6回開催した。

施策別行政サービス成果表の評価指標 農業特産物即売会来客数

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

【課題や改善できる点】

- 農業従事者の高齢化に伴い、農地(生産緑地)の保全と担い手育成対策が急務である。
- 農家の経営所得安定対策のため、地元農産物の地産地消の推進を図る必要がある。

【19年度以降の見通し】

- 農業を振興するために、JA兵庫六甲農業協同組合と連携しながら今後も農業団体に対し助成・支援する必要がある。
- 農産物の地産地消推進のために、朝市や直売所を整備する必要がある。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	市民農園支援事業			決算書頁	292
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	商工農林・観光担当主幹 大南 孝二		

## 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較	
	総事業費	47,200	135		47,065	一般財源	0	135
内訳	事業費	47,200	135	47,065	国県支出金	47,200		47,200
	職員人件費			0	地方債			0
	公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考	職員数(人)			0	特定財源(その他)			0
	再任用職員数(人)			0				

## 3. 事業の目的

遊休地対策、農地の保全対策
---------------

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	市民農園支援事業	細事業事業費	47,200
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)			
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)			
(3)概要 JA兵庫六甲農業協同組合が事業主体となり、国(50%)と県(9%)から補助を受けて実施した。			
事業名		平成18年度ひょうご市民農園整備事業	
総事業費		88,624,200円(補助金:47,200,000円)	
事業期間		平成18年8月17日～平成19年3月27日	
名称		矢間農園(矢間東町地内)	
面積		17,240㎡	
主な施設	農園	24㎡*440区画	
	管理棟 木造平屋	150㎡×1棟	
	農機具庫	67㎡×2棟	
		42㎡×2棟	
		33㎡×1棟	
駐車場	2,315㎡		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

市民農園利用者の野菜・果樹栽培の技術習得のため、各種講座及び講演会を関係機関の協力を得ながら実施した。

	18年度	17年度	16年度	15年度
各種講座受講生(人)	—	17	21	19
講演会参加者数(人)	320	—	—	—

施策別行政サービス成果表の評価指標

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

### 【課題や改善できる点】

○市民農園での収穫イベント等への支援手法及び支援体制の構築が必要である。

### 【19年度以降の見通し】

○市民農園での収穫イベント等に対して支援・助成する。

## 事業別行政サービス成果表

### 1. 事業名等

事業名	農業用施設改良事業	決算書頁	294
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	商工農林・観光担当主幹 大南 孝二

### 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較
	総事業費	6,658	5,752		906	一般財源	6,658
内、事業費	6,658	5,752	906	国県支出金			0
訳、職員人件費			0	地方債			0
公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考、職員数(人)			0	特定財源(その他)			0
再任用職員数(人)			0				

### 3. 事業の目的

農業用施設の新設・改良事業のため。(ため池の安全対策、農業水路の新設・改良工事の実施)

### 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	農業用施設改良事業	細事業事業費	6,658
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	生産組合員(水利組合員)		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	30地区		
(3)概要	<p>① 未改修及び老朽化している水路等の改良事業に要する費用の補助を3地区にて行った。</p> <p>(1)一庫地内農業用施設(水路)応急改良工事      施工延長 L=10.7m</p> <p>(2)矢間地内農業用施設(水路)応急改良工事      施工延長 L=4.1m</p> <p>(3)久代地内農業用施設(井堰)応急改良工事      取水口補修工 1.0式</p> <p>② ため池に防護策を設け水難事故防止に対する安全対策に要する費用の補助を1地区にて行った。</p> <p>(1)火打地内農業用ため池安全対策(奥池フェンス設置)工事      施工延長 L=155.0m</p>		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

① 未改修及び老朽化している水路等の改良事業に要する費用の補助を行った。

	18年度	17年度	16年度	15年度
農業施設改良	3	3	6	2

② ため池に防護策を設け水難事故防止に要する費用の補助を行った。

	18年度	17年度	16年度	15年度
ため池安全対策	1	3	3	0

施策別行政サービス成果表の評価指標

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

【課題や改善できる点】

- 農業用施設を改修する場合、工事費用の1/2相当額を地元が負担することとなるため、未改修及び老朽化したまま放置された農業施設が多数ある。
- 農地の減少及び農業従事者の高齢化、担い手不足により、ため池の維持管理が困難な状況となっている。

【19年度以降の見通し】

- 農業用施設の適正な維持管理のため、地元生産組合（水利組合）と連携しながら対応する。

## 事業別行政サービス成果表

### 1. 事業名等

事業名	労働相談事業	決算書頁	282
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	消費・労政担当主幹 渡辺 明美

### 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較
	総事業費	19,477	15,262		4,215	一般財源	16,765
内、事業費	8,005	8,102	△ 97	国県支出金			0
職員人件費			0	地方債			0
公債費	11,472	7,160	4,312	特定財源(都市計画税)			0
参考			0	特定財源(その他)	2,712	4,414	△ 1,702
職員数(人)			0				
再任用職員数(人)			0				

### 3. 事業の目的

パート就労及び高年齢者就労に関する求人・求職情報の提供

### 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	労働相談事業	細事業事業費	8,005
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	主に市民		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	制限なし		
(3)概要	<p>○伊丹公共職業安定所の出先機関として、パート及び高年齢者就労に関する求人・求職情報の提供を行った。</p>		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

### ・川西パートバンク

項目	H18	H17	H16	H15
来所者数	17,994	17,715	16,164	18,146
新規求職者数	1,435	1,315	1,198	1,585
採用件数	472	401	401	377

### ・川西市高齢者職業相談室

項目	H18	H17	H16	H15
来所者数	6,672	7,205	10,382	17,443
新規求職者数	594	557	490	618
採用件数	213	205	202	156

※来所者数減少の主要因

社会経済低迷により、一般企業における人員整理の結果、失業者が増加し、併せて雇用受給制度が改定(H15.5.1)されたことにより来所者数が一時的に増加したが、近年その動向が沈静化しているため来所者数が減少している。

施策別行政サービス成果表の評価指標 パートバンク及び高齢者職業相談室における求職者の採用人数

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

- リストラの沈静化による雇用保険受給者の減少、また景気回復を背景とした雇用拡大等の要因により、今後來所者数は通減し、採用件数は通増することが推測される。
- 本事業についてのPRをさらに強化し、利用者拡大に努める。

## 事業別行政サービス成果表

### 1. 事業名等

事業名	労働者支援事業	決算書頁	282
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	消費・労政担当主幹 渡辺 明美

### 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較
総事業費	55,701	64,318	△ 8,617	一般財源	26,071	25,768	303
内、事業費	36,537	45,440	△ 8,903	国県支出金			0
職員人件費	19,164	18,878	286	地方債		3,000	△ 3,000
公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考				特定財源(その他)	29,630	35,550	△ 5,920
職員数(人)	2	2	0				
再任用職員数(人)			0				

### 3. 事業の目的

勤労者支援及び就労支援

### 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

〈細事業1〉	労働者支援事業	細事業事業費	6,907
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	市内在住または在勤者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)			
(3)概要	<p>○就労支援事業として、市内在住または在勤者を主対象に、専門カウンセラーによるキャリアカウンセリング、また労使間トラブルの解決の場として労働相談、各種セミナーを実施。</p> <p>○市内中小企業で働く従業員の福利厚生支援として、健康管理事業や慶弔給付事業、各種チケットのあっせんを実施。</p> <p>○産業保健推進事業として、市内事業所のうち従業員50人未満の小規模事業所の従業員を対象に、市保健センターで健康診断を実施。</p>		
〈細事業2〉	勤労者住宅資金融資あっせん事業	細事業事業費	29,630
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	市内に自ら居住する住宅を建築し、又は購入しようとする勤務者 ほか		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)			
(3)概要	<p>○昭和53年度に、勤労者の持家促進を支援するための住宅融資あっせん制度として発足させたが、平成15年度に新規貸付を終了しており、現在は返済及び残高に応じた預託のみを行っている。</p>		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

・キャリアカウンセリング及び労働相談の利用者数 ※( )内はのべ相談回数

項目	H18	H17
キャリアカウンセリング	48(89)	44(81)
労働相談	28(29)	17(18)

(注)ともに平成17年度からの新規事業として集計

・川西市中小企業勤労者福祉サービスセンター会員数及び利用者数

項目	H18	H17	H16	H15
事業所数	112	115	113	111
会員数	2,033	2,218	2,259	2,209
自主事業参加者数	422	438	※1109	432
健康管理事業利用者数	1,187	1,215	1,238	1,107
レジャーチケットあっせん枚数	4,050	4,078	3,264	3,256

※16年度では、パセオ10周年記念事業を実施したため(参加者700名)、参加者数が大幅に増加。

・産業保健推進事業

項目	H18	H17	H16	H15
申込事業所数	41	41	34	32
受診者数	324	341	276	345

・勤労者住宅資金融資あっせん制度 \*返済状況(H19.3末現在)

貸付年度	件数	債務残高(円)	預託額(円)	預託倍率
4	3	10,017,568	2,504,392	1/4
5	5	23,198,608	5,799,652	1/4
6	2	7,298,887	1,824,721	1/4
7	5	24,850,616	6,212,654	1/4
9	4	19,389,120	3,877,824	1/5
10	1	4,662,299	932,459	1/5
11	2	7,131,651	1,426,330	1/5
12	3	20,832,915	4,166,583	1/5
合計	25	117,381,664	26,744,615	—

≒26,740,000

施策別行政サービス成果表の評価指標 中小企業勤労者福祉サービスセンター加入社数・会員数及び利用者数

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

○キャリアカウンセリングは、川西パートバンクと連携をとることにより、機能し始めている。その他の事業についてもPR方法に工夫を凝らし、利用者数を増やすことが課題である。

○勤労者住宅資金融資貸付件数は残り25件で、平成37年度に終結予定(25年返済)。

## 事業別行政サービス成果表

### 1. 事業名等

事業名	観光推進事業	決算書頁	308
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	商工農林・観光担当主幹 大南 孝二

### 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較
総事業費	11,251	11,691	△ 440	一般財源	11,251	11,691	△ 440
内、事業費	1,669	2,252	△ 583	国県支出金			0
職員人件費	9,582	9,439	143	地方債			0
公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
職員数(人)	1	1	0	特定財源(その他)			0
再任用職員数(人)			0				

### 3. 事業の目的

本市の歴史と芸術・文化を広く情報発信するとともに観光振興を図る

### 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	広域観光事業	細事業事業費	217
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	全市民及び来街者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	全市民及び来街者		
(3)概要	観光振興を図るため広域的な観光団体に参加し観光客の誘致を図った。猪名川大橋のライトアップにより広域的にPRをしている。		
<細事業2>	観光PR事業	細事業事業費	1,452
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	全市民及び来街者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	全市民及び来街者		
(3)概要	観光イベント等に楽しく参加できるように、ハイキングコースの清掃や、整備を行った。また源氏のふるさと大使による市内観光情報のPRにより観光客の誘致及び市のイメージアップを図る。		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

平成18年度においても新たに観光大使を委嘱し、「川西市」の情報未発信地域において積極的に活動をしていただいた。また、青少年団体連絡協議会の協力によるハイキングコースの清掃をおこない、ハイキングコース立て看板の整備に引き続き市民が安全に、楽しんでハイキングに参加できるよう努めている。

広域的な観光の観点から、社団法人兵庫ツーリズム協会等の団体に参加し、最新情報の取得により観光客の誘致を図っており、猪名川大橋のライトアップについては、引き続き池田市と共同でPRをおこない、互いに情報発信をおこなっている。また、歴史的、文化的観光情報の積極的なPR、市のイメージアップ及び観光客誘致のために、観光協会に対し補助金を交付し、呉服橋西詰めに懸垂幕をたてる等の取組みをおこなった。

観光大使委嘱人員 (人)

	18年度	17年度	16年度	15年度
一般	3	3	4	4
著名人	0	0	0	1

二つ折りの特姓名刺や川西市特産のイチジクワイン・いちじく茶を利用し、大使になられた方の地域等で「川西市」をPRしていただいている。

施策別行政サービス成果表の評価指標

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

今後とも本市の豊かな歴史や自然、施設(観光資源)が有効利用できるように、努めていく。

## 事業別行政サービス成果表

### 1. 事業名等

事業名	イベント支援事業	決算書頁	310
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	商工農林・観光担当主幹 大南 孝二

### 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較
	総事業費	18,127	27,421		△ 9,294	一般財源	18,127
内: 事業費	8,545	8,543	2	国県支出金			0
内: 職員人件費	9,582	18,878	△ 9,296	地方債			0
内: 公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考: 職員数(人)	1	2	△ 1	特定財源(その他)			0
再任用職員数(人)			0				

### 3. 事業の目的

川西市の歴史的資源を活用し、「清和源氏発祥の地」を市内外へPRするとともに伝統文化の発信を行う。

### 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

〈細事業1〉	川西りんどう祭	細事業事業費	3,515
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)		小学4年以上市内外の申込者(おもろ能)・年齢問わず市内外の申込者(歩ラソン)	
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)		おもろ能633人 歩ラソン1,493人	
(3)概要 歩ラソン(スタンプラリー)やおもろ能(薪能)を実施し市内外へ文化の発信を行う。			
〈細事業2〉	川西市源氏まつり	細事業事業費	5,030
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)		市民及び来街者	
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)		43,000人	
(3)概要 「清和源氏発祥の地 川西」をPRするために観光協会と共催で実施。			

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

りんどう祭及び源氏まつり参加者の推移 (人)

年度	18	17	16	15
おもろ能	633	767	748	726
歩ラソン	1,493	1,181	255	501
源氏まつり	43,000	40,000	45,000	40,000

※平成18年度のおもろ能は雨天のため途中で中止。

施策別行政サービス成果表の評価指標 イベント入場者数

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

市民ニーズの高い事業であり、更に内容を充実させ、継続実施していきたい。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	猪名川花火大会事業			決算書頁	310
所管室・課	市民生活部 産業振興室	作成者	商工農林・観光担当主幹 大南 孝二		

## 2. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	18年度	17年度	比較	財源	18年度	17年度	比較	
	総事業費	24,416	9,457		14,959	一般財源	24,416	9,457
内訳	事業費	14,834	18	14,816	国県支出金	0	0	0
	職員人件費	9,582	9,439	143	地方債		0	0
	公債費		0	0	特定財源(都市計画税)		0	0
参考	職員数(人)	1	1	0	特定財源(その他)	0	0	0
	再任用職員数(人)	0	0	0				

## 3. 事業の目的

市民に親しまれ、多くの来訪者に喜ばれる歴史的合同イベントにより市のイメージアップを図る。

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	猪名川花火大会事業	細事業事業費	14,834
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	市民等		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	45,000人(川西側)		
(3)概要	昭和23年に始まり、毎年趣向を変えた仕掛け花火により、10万5千人を超える観客が両市に集まる。		

## 5. 事業成果

(1) 事業目的に対する効果  非常に大きな効果があった  大きな効果があった  多少効果があった  効果がなかった

(2) 成果内容

花火大会観覧者推移 (単位:人)

年度	18	17	16	15
観覧者数(川西側)	45,000	※中止	50,000	50,000
観覧者数(池田側)	60,000		70,000	70,000
観覧者(合計)	105,000		120,000	120,000

※JR事故による中止

施策別行政サービス成果表の評価指標 イベント入場者数

## 6. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、19年度以降の見通しについて

近年、さらに注目される安全対策及び職員の応援態勢の確立が必要である。